



## 御礼のあいさつ

はじめに、この募金はさまざまな団体様や子どもたちが初めて体験した募金活動など、非常に多くの寄付者の皆さんからのご寄付であることをおうかがいしました。このような大切な募金を私たち団体に助成配分をしていただきまして、誠にありがとうございます。

私たち「Nっ子ちゃん」は、白河市や県南地区を中心に、小さく生まれた低出生体重児のご家族のサークル活動を行っています。「Nっ子ちゃん」の「N」は、NICU（新生児集中治療室）の頭文字からとり、早産などで小さく生まれてNICUで育った子どもたちのご家族と交流をしたいと思い、WHOが定める世界早産児デーである2019年11月17日に活動をスタートさせました。

低出生体重児として生まれたリトルベビーの家族会やサークルは、実は全国各地にあるわけではなく、福島県には幸いなことに、「福島NICU親の会」の「Nくらぶ」という家族の会があり、20余年にわたり活動が続けられているところです。しかし、活動の拠点が福島市にあり、白河市から車で1時間以上かけて移動し、定期的に通うことがとても大変であったため、地元近隣で、身近な場所で気軽におしゃべりをしたり、つながりをつくれたらと思い、白河市で活動を始めました。

普段は奇数月の第三日曜日に活動を行っておりますが、活動を始めて間もないころに新型コロナウイルスの影響が日本にも拡大し、活動を中止せざるを得ない時期がありました。感染拡大防止のために様々な制限を受ける中ではありますが、このような中でも、どうすれば活動ができるかを模索し、現在では消毒など感染防止策を取りながら対面で活動を行うことと、オンラインでの交流会をするようになりました。もともとNっ子ちゃんのお子さんは、子どもが小さいうちは免疫が弱い傾向にあり、気軽に外出することもままなりません。オンラインでの交流は家族の皆さんが交流をするのにとても便利で、新型コロナウイルスの影響が落ち着いた後も積極的に活用してまいりたいと考えております。

今回の助成金では、おしゃべり会を実施するための費用（オンラインの活動を行うためのパソコン、チラシ印刷のためのプリンタの購入、衛生に配慮して対面型活動を行うための消毒用品・体温計）に使わせていただきたいと思っております。皆様からの募金が基となった助成金をより充実した活動をするために大切にに使わせていただきます。

この度は、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

令和3年7月

Nっ子ちゃん 代表 鈴木頼子

令和3年度福島県赤い羽根共同募金助成事業(一般公募)

事業名：小さく生まれたお子さん（低出生体重児）を持つ家族の孤立を防ぐための「おしゃべり会」開催事業